

オンラインシラバス 中学3年生 インターナショナルコース(SG)

SG 現代文	2
SG 古典	3
SG 公民・政治	4
SG 公民・経済	5
SG 数学α	6
SG 数学β	7
SG 理科 I	8
SG 理科 II	9
SG 英語	10
English	11

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	現代文	SG	3	赤澤・小野寺

到達目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明的文章については、文章の読解を通じて、社会的な課題や哲学的な論点についての視野を広げる。</li> <li>・文学的文章については、表現の豊かさを味わい、その表現の機微を敏感に捉える力を育成する。</li> <li>・精緻な文章読解を通じて、筆者の主張を正確に理解し、文章全体の論理構造を把握する力を養う。</li> <li>・筆者の主張を多角的に検討して意見を主体的に構築する力や、論理の筋道が通った小論文を執筆するための基礎的な素養を身に付ける。</li> </ul>

授業の進め方・学習方法
<p>読解と解説を中心に進め、適宜問題演習を行うことで理解・考察を深める。          ディスカッションやディベート、プレゼンテーションなどの取り組みを通して自分の意見を構築・発表を行う。          小論文などの文章作成のために必要な知識を学び、作成訓練に取り組む。</p>

授業スケジュール	
1学期	小川洋子「なぜ物語が必要なのか」 三崎亜記「私」 演習教材
1学期中間試験	
1学期	森達也「メディア・リテラシーはなぜ必要か？」 森岡正博「AIは哲学できるか」 表現活動
1学期期末試験	
2学期	坂本龍一「async——同期しないこと」 国谷裕子「問いかける言葉」 演習教材
2学期中間試験	
2学期	魯迅「故郷」 多田孝志「『対話力』とは何か」 表現活動
2学期期末試験	
3学期	森鷗外「最後の一句」 演習教材
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を中心としてその他活動で総合的に評価する。
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
伝え合う言葉 中学国語3	教育出版	
ちくま評論入門	筑摩書房	
意味から学ぶ頻出漢字3000	第一学習者	

担当者からのアドバイス
<p>現代文、特に評論文は私たちの文化や社会システムそのものを言語に落とし込んで解説したものです。ということは、評論文は世界を構造的に捉える見方そのものであると言えます。普段は気にも留めない私たちのこの世界の仕組みを、あなたはどのように見、どのように考えますか。評論や小説を通して私たちの意識そのものを相対化し、探っていきましょう。</p>

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	古典	SG	2	河野・赤澤

到達目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>古文・漢文を多く読み、現代文に通底する日本語表現の魅力を感じ取る。</li> <li>今年度中に古典文法の基礎を学習し、高度な古典学習の基盤を作る。</li> <li>古典を読む前提となる時代背景や古典常識を理解し、古人の思考のパラダイムを知る。</li> <li>文法事項の確認と古文単語の習得を通じて、正確な解釈と内容把握に取り組む。</li> </ul>

授業の進め方・学習方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>単元毎に授業用ノートやプリントを用い、学習事項を整理する。</li> <li>文章の読解を通して、古文単語・古典文法(用言・助動詞等)・古典常識について整理し理解する。</li> <li>『体系古典文法』を利用する。</li> <li>『古文単語315』を引き続き活用し、基本古文単語の完全定着を目指す。</li> </ul>

授業スケジュール	
1学期	<b>【助動詞総復習】</b> 古文『更級日記』「門出」 漢文「画竜点睛」
1学期中間試験	
1学期	<b>【敬語】</b> 古文『枕草子』「中納言参りたまひて」 『十訓抄』「大江山いくのの道」
1学期期末試験	
2学期	<b>【敬語】</b> 古文『大鏡』「競べ弓」 漢文 李白・杜甫
2学期中間試験	
2学期	<b>【敬語】</b> 古文『枕草子』「雪のいと高う降りたるを」 漢文 白居易『香炉峰下、新卜山居、草堂初成、偶題東壁』
2学期期末試験	
3学期	<b>【敬語】</b> 古文『源氏物語』「桐壺」 漢文『白居易集』「長恨歌」
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を中心として平常の活動を含み総合的に評価する。
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
伝え合う言葉 中学国語3	教育出版	
体系古典文法	数研出版	
古文単語315	桐原書店	

担当者からのアドバイス
<p>古典には二つの顔があります。一つには、私たちの言語文化に近い日本語としての顔。もう一つには、私たちの言語文化から遠い一種の外国語としての顔。したがって、古典を勉強するときにはその二つの側面に気をつけることが重要です。</p> <p>たとえば「昨日、何食べたっけ？」の「け」は、過去を表す助動詞「けり」が長い時間を経て変化しながら現代語に残ったものだと言われています。このように、私たちの言語文化には昔生きていた人々の文化の断片が埋め込まれています。同時に、現代ではほとんど古語も漢語も日常的には使われません。ということは、一種の外国語学習と共通するものがあります。外国語を読む際に必要となるものは、語彙と文法です。こつこつとこの二つを補完しながら積み重ねていくことが古典でも大切になってきます。近さと遠さ。これらを意識して楽しく古典を学習していきましょう。</p>

教科	科目	コース	授業時間	担当者
社会	公民(政治)	SG	2	村田

#### 到達目標

1. 現代社会に関する基礎的な知識や資料読解等の技能を習得する。
2. 知識・技能を活用して、社会現象や社会課題について思考・判断して、その内容を表現できる。
3. 社会課題の解決など主体的に社会と関わろうとする態度を身につける。

#### 授業の進め方・学習方法

授業ではプリントを用いた講義を中心に、グループ活動や自分の意見をまとめる活動を行う。グループディスカッションの機会も設ける予定であり、自分以外の意見を受容し、より発展的な考えを形成するきっかけとしてほしい。なお、本科目は高等学校「公共」の内容を、中学3年生の早期段階から学習することを企図して展開する。

#### 授業スケジュール

1学期	第1編 公共の扉 第1章 社会を作る私たち 第3章 他者とともに生きる	第2章 人間としてよく生きる 第4章 民主社会の倫理
1学期中間試験		
1学期	第1編 公共の扉 第5章 民主国家における基本原理 第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第1章 日本国憲法の基本的性格	
1学期期末試験		
2学期	第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第1章 日本国憲法の基本的性格 第2章 日本の政治機構と政治参加	
2学期中間試験		
2学期	第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第2章 日本の政治機構と政治参加	
2学期期末試験		
3学期	第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第5章 国際政治の動向と課題	
学年末試験		

#### 成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を中心に、出席や小テストなど授業での取組状況を平常点として加味して評価を行う。
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

#### 教科書・教材

書名	出版社	備考
公共新訂版 共につくる未来	実教出版	
新編 新しい社会公民	東京書籍	

#### 担当者からのアドバイス

公民分野で扱う内容は、日々のニュース等でも取り上げられる身の回りの事象が多く、そのため学習にあたっては、日常生活の中でいかに自分の周りの情報に敏感でいるかが重要となる。社会の出来事に興味を向けて、授業で学習した内容を実社会と結び付けること、「cool head but warm heart」を持って社会課題について考えることを期待したい。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
社会	公民(経済)	SG	2	村田

#### 到達目標

1. 現代社会に関する基礎的な知識や資料読解等の技能を習得する。
2. 知識・技能を活用して、社会現象や社会課題について思考・判断して、その内容を表現できる。
3. 社会課題の解決など主体的に社会と関わろうとする態度を身につける。

#### 授業の進め方・学習方法

授業ではプリントを用いた講義を中心に、グループ活動や自分の意見をまとめる活動を行う。グループディスカッションの機会も設ける予定であり、自分以外の意見を受容し、より発展的な考えを形成するきっかけとしてほしい。なお、本科目は高等学校「公共」の内容を、中学3年生の早期段階から学習することを企図して展開する。また、2学期にはクエストエデュケーションを行う予定。

#### 授業スケジュール

1学期	第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第3章 現代の経済社会
1学期中間試験	
1学期	第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第3章 現代の経済社会
1学期期末試験	
2学期	第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第4章 日本経済の特質と国民生活 ※2学期にはクエストエデュケーションを行う予定。
2学期中間試験	
2学期	第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第4章 日本経済の特質と国民生活 ※2学期にはクエストエデュケーションを行う予定。
2学期期末試験	
3学期	第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第6章 国際経済の動向と課題
学年末試験	

#### 成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を中心に、出席や小テストなど授業での取組状況を平常点として加味して評価を行う。
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

#### 教科書・教材

書名	出版社	備考
公共新訂版 共につくる未来	実教出版	
新編 新しい社会公民	東京書籍	

#### 担当者からのアドバイス

公民分野で扱う内容は、日々のニュース等でも取り上げられる身の回りの事象が多く、そのため学習にあたっては、日常生活の中でいかに自分の周りの情報に敏感でいるかが重要となる。社会の出来事に興味を向けて、授業で学習した内容を実社会と結び付けること、「cool head but warm heart」を持って社会課題について考えることを期待したい。

クエストエデュケーションは、生徒の主体的な探究を促すプログラムである。グループで力を合わせ、考え、行動し、自分だけのオリジナルの答えを見つけ出すこと、失敗を恐れず、とにかく積極的に取り組むこと、その場だけの成功を目指さず、より深く追究することを意識してほしい。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学B	本科	2	渡邊

到達目標
<p>数学を学ぶ上で基礎となる知識の習得と技能の習熟を図る。また、様々な事象を、分析して情報を整理する力、得られた情報を活用して問題解決の方法を探る姿勢を身に付けることを目指し、答えを出すだけでなく、考えたことを論理的に表現する力を養う。また、ただ答えを得るだけでなくそこに至るまでの過程を大切にし様々な解法があることを知る。自分の解いた答えをもとにそこに行き着いた経緯を説明することができる力を養う。</p>

授業の進め方・学習方法
<p>&lt;授業の進め方&gt; 教科書を基本として、練習問題などを授業中に提示していく &lt;学習の方法&gt; ①教科書をあらかじめ読んで、自分の中で何が分からないかを明確にしておく ②授業中に指示のあった問題をノートに書き、解き方を身に付ける ③授業中で理解に至らなかった部分について、自宅にて復習を行う</p>

授業スケジュール	
1学期	深進 数学 A 【序章】 集合 【第1章】 場合の数と確率 第1節 場合の数 第2節 順列・組み合わせ 1学期中間試験
1学期	第3節 確率と期待値 第4節 いろいろな確率 1学期期末試験
2学期	深進 数学 I 【第5章】 データの分析 第1節 データの整理と分析 第2節 データの相関 第3節 データの検証 2学期中間試験
2学期	深進 数学 I 【第4章】 図形と計量 第1節 鋭角の三角比 第2節 三角比の拡張 2学期期末試験
3学期	第3節 図形の計量 学年末試験

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の割合が80%、課題試験の結果・小テストの結果・宿題の提出状況の割合が20%、合わせて100%として評価する
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
深進 改訂版 数学 I・A	啓林館	
Grasp 改訂版 数学 I+A	啓林館	
Focus Gold 数学 I+A	啓林館	

担当者からのアドバイス
<p>今年度より、高校数学の内容を扱っていきます。特に、今年度学習する内容は高校数学の土台になり、来年度以降の学習内容にも重要な役割を果たします。学習の中で生じた疑問は放っておくことなく、丁寧に確認していきましょう。また、自分が理解したことを表現するのはなかなか難しいことです。「わかった」で終わりにせず、それを相手に伝えられるようになることを目指し、問題集や参考書を利用して、考え方や説明の流れを書く練習をしましょう。</p>

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学α	本科	3	和田

到達目標
<p>数学の知識の習得のみにとどまらず、問題解決能力の向上をはかる。 それに向けて、主体的に取り組む姿勢を身につける。</p>

授業の進め方・学習方法
<p>公式をただ暗記するのではなく、どうしてそうなるのか考える時間を大切にしながら授業を進めていく。 知識の定着と確かな計算力を身につけるために適宜小テストを行う。</p>

授業スケジュール	
1学期	数学Ⅰ 第1章 数と式 第1節 多項式 第2節 実数 第3節 1次不等式
1学期中間試験	
1学期	数学Ⅰ 第3章 集合と命題 第1節 集合と命題
1学期期末試験	
2学期	数学Ⅰ 第2章 2次関数 第1節 関数とグラフ 第2節 2次関数の最大と最小
2学期中間試験	
2学期	数学Ⅰ 第2章 2次関数 第3節 2次関数と方程式・不等式
2学期期末試験	
3学期	数学A 第3章 数学と人間の活動 第1節 数学と歴史・文化 第2節 数学とゲーム・パズル
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験が80%、課題や小テスト等が20%、合わせて100%で評価する
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
深進 数学Ⅰ	啓林館	教科書
深進 数学A	啓林館	教科書
Grasp 数学Ⅰ+A	啓林館	問題集
Forcus Gold数学Ⅰ+A	啓林館	参考書

担当者からのアドバイス
<p>授業内で解いた問題や、自主学習で解いた問題集の問題、出会った問題は全て大切にすることが大切です。 高校数学の土台を固めるべく、基礎の定着を徹底しましょう。</p>

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	理科 I	本科	2	戸井田

到達目標
<p>力や運動、エネルギー、電磁気に関わる自然現象の本質や仕組みを知る。            具体的には、以下の目標達成に向かって段階的に取り組む。            ①各現象の特徴を理解し、具体的に自身の言葉で説明することができるようにする。            ②各現象を数値や数式をもちいて表す手法に親しむ。            ③必要に応じて高等学校で扱う基本的概念も体系的に取り入れることにより、自然現象をより正確に理解する。</p>

授業の進め方・学習方法
<p>教科書、板書、プリント、実験ではICT機器も利用します。配布するプリントおよび教科書は必ず持参してください。授業は1年間を通して物理分野となります。もし、「授業が難しい！進度が速い！」と感じた生徒は、スタディサプリを使った予習・復習も効果的です。また、クラスメイトと教え合うことでお互いの理解が深まります。次の授業が始まるまでに前回までの不明点を残さない姿勢を貫きましょう（質問も歓迎です）。</p> <p>※定期試験にむけて            知識の暗記やパターン問題の機械的習得に走らないようにしましょう。一つ一つの疑問を丁寧に解決させ、自分の言葉で用語や式の説明ができるようになりましょう。</p>

授業スケジュール	
1学期	第5章 力と運動 第1節 力の合成・分解と力のつり合い（復習範囲） 第2節 物体の運動と力 第3節 重力による運動 1学期中間試験
1学期	第5章 力と運動 第4節 運動の3法則 第6章 仕事とエネルギー 第1節 仕事 1学期期末試験
2学期	第6章 仕事とエネルギー 第1節 仕事 第2節 力学的エネルギー 2学期中間試験
2学期	第3章 電流回路 第1節 電流・電圧 第4章 電流のはたらき 第1節 電流のはたらき 2学期期末試験
3学期	第4章 電流のはたらき 第2節 電流と磁場 第6章 第3節 いろいろなエネルギーの移り変わり 学年末試験

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	授業内で扱った内容の基礎事項の確認とともに、定義や意味を中心とした本質的な内容理解を問う問題を多く出題します。むやみな暗記に走らず、一つ一つの内容をどこまでも自分自身が納得いくまで理解しましょう。なお、期末試験では中間試験の範囲も出題し、学年末試験では、1・2学期の内容も出題します。
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
未来へ広がるサイエンス	啓林館	
系統的に学ぶ中学物理	文理	
系統的に学ぶ中学物理（問題集）	文理	

参考書		
書名	出版社	備考
視覚でとらえるフォトサイエンス物理図録	数研出版	高校用ですが、実験動画などが参考になります。

担当者からのアドバイス
<p>「現象を記述する」ことが物理学の本質です。記述は言葉だけではなく、数式を、数学をふんだんに利用します。中学3年生では力学や電磁気の諸現象をテーマに「自然科学の記述」を練習していきましょう。17世紀にニュートンが記述して以来、300年余り共通した……時代を超えて世界と会話できる物理の奥深さや面白さの片りんを一緒に体感していきましょう！！</p>

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	理科II	SG	2	西山

到達目標
<p>1学期は地球の内部構造について学びます。  2学期はその地球の周りを取り巻く大気について学び、3学期は宇宙について学びます。  1年を通して、地学の基本的な内容を全て学習していきます。内容によっては、高校の地学基礎の内容も含まれています。  自ら興味を持ち、積極的に学習していきましょう。</p>

授業の進め方・学習方法
<p>教科書・プリントを使用して授業を進めます。  定期試験には、授業で扱った事項の他、理科実験で扱ったものも出題されます。  第1学期期末試験以降は、それ以前に学習した範囲も出題されます。</p>

授業スケジュール	
1学期	<p>第1章 地球と地震・火山  第1節 地球の内部構造  第2節 プレートテクトニクスと地形  第3節 地震のしくみ  第4節 火山のしくみ  &lt;定期試験範囲のまとめ&gt;  プレートテクトニクス・地震・火山について。  理科実験の内容も試験範囲に入る。</p> <p style="text-align: center;">1学期中間試験</p>
1学期	<p>第1章 地球と地震・火山  第5節 マグマからできた火成岩  第2章 大地の変化  第1節 地表の変化  第2節 地表からわかる地球の過去  &lt;定期試験範囲のまとめ&gt;  中間試験までの範囲も含む。堆積岩・地層について。理科実験の内容も試験範囲に入る。</p> <p style="text-align: center;">1学期期末試験</p>
2学期	<p>第3章 地球の大気  第1節 地球の熱収支  第2節 大気の大循環  &lt;定期試験範囲のまとめ&gt;  熱収支・大気の構造・大気の大循環について。理科実験の内容も試験範囲に入る。</p> <p style="text-align: center;">2学期中間試験</p>
2学期	<p>第4章 天気とその変化  第1節 天気とその変化  第2節 日本の季節と天気  &lt;定期試験範囲のまとめ&gt;  中間試験までの範囲も含む。天気・天体の動きについて。理科実験の内容も試験範囲に入る。</p> <p style="text-align: center;">2学期期末試験</p>
3学期	<p>第5章 天体の運動  第2節 天体の動き  第2節 大地の変動に  &lt;定期試験範囲のまとめ&gt;  1年間の範囲をすべて含む。天体・宇宙・地球について。理科実験の内容も試験範囲に入る。</p> <p style="text-align: center;">学年末試験</p>

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	「理科」の評価は、定期試験が「理科」として行われ、理科第1分野第2分野を合算した点数をもとに算出されます。 「理科実験」は理科第1分野第2分野の授業内で行われ、レポートの質や実験への取り組み等で評価します。 これらの評価を総合して、年度末には「理科」としての成績が算出されます。
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
系統的に学ぶ中学地理	文理	
系統的に学ぶ中学地理 問題集	文理	

担当者からのアドバイス
<p>地学では、空間的にも時間的にもスケールが大きな話を学習します。  悠大で豊かな自然がどのようにできたのか、宇宙の話など、ワクワクする学習を楽しみましょう！</p>

教科	科目	コース	授業時間	担当者
外国語	英語	SG	5	中山

到達目標
Listening: 身近な話題や背景知識のある社会的な話題について、聞いて内容を理解することができる。Reading: 既習文法を用いた様々な文章を、慣れ親しんで読むことができる。さらに、新たに導入される高校英文法（仮定法や関係詞の発展など）を含む初見の英文についても、構造を分析し正確に意味を理解できる。Writing: 身近な話題や社会的な話題について、自分の言葉で意見を書くことができる。Speaking: 身近な話題や社会的な話題について、自分の言葉で意見を発表したり会話したりすることができる。複雑な文法事項を実際のコミュニケーションの中で適切に運用し、情報や考えをより正確に伝えることを目指す。文法: 中学英文法の確実な定着を図るとともに、高校英文法の基礎を導入する。文法を単なる知識としてではなく、4技能すべてを支える「論理の骨組み」として理解し、定着させる。

授業の進め方・学習方法
昨年度から継続して使用している『New Treasure Stage 2』を用いた読解活動や、既習文法の総復習を行います。また、長文問題集を活用した読解演習を取り入れ、多種多様な長文に触れる機会を積極的に設けます。2学期以降は、これまでに蓄積した知識をベースに、より実践的な演習へと移行します。演習を通じて、高校英語へとスムーズに接続するための強固な土台作りを行います。

授業スケジュール	
1学期	New Treasure Stage2 Further Reading②
1学期中間試験	
1学期	新中学問題集 英語3年発展編: Lesson1～Lesson4 新中学長文問題集[英語]: Lesson1～Lesson4文法に関連する問題
1学期期末試験	
2学期	新中学問題集 英語3年発展編: Lesson5～Lesson8 新中学長文問題集[英語]: Lesson5～Lesson8文法に関連する問題
2学期中間試験	
2学期	新中学問題集 英語3年発展編: Lesson9～Lesson12, 14 新中学長文問題集[英語]: Lesson9～Lesson12, 14文法に関連する問題
2学期期末試験	
3学期	新中学問題集 英語3年発展編: Lesson13, 15～18 新中学長文問題集[英語]: Lesson13, 15～18文法に関連する問題
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の得点を評定の80%に入れる。また、宿題の提出や小テストの結果、出席状況を平常点として評定の20%に入れる。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
New Treasure Stage2 Third Edition	Z会編集部	
New Treasure Stage2 Third Edition CDs	Z会編集部	自宅学習用として使用します。
キクジユク【高校英熟語】高校入試レベル	アルク	小テストで使用します。
新中学問題集 英語3年発展編	教育開発出版	New Treasure2 終了後配布予定。
新中学長文問題集[英語]	教育開発出版	New Treasure2 終了後配布予定。

参考書			
書名	著者	出版社	備考
Vision Quest 総合英語 Ultimate	野村恵造	啓林館	2学期から適宜使用します。

担当者からのアドバイス
英語力の向上には、「継続」と「アウトプット」が何よりも大切です。日々の授業で行う演習は、皆さんの「英語の基礎体力」を作るためのトレーニングです。まずは一回一回の活動に集中し、わかったつもりで終わらせずに、自分の言葉で表現できるまで落とし込んでいきましょう。また、文法は単に暗記するものではなく、自分の考えを正確に伝えるための「道具」です。新しく学ぶ高校文法も、読解や英作文の中で積極的に使ってみることで、初めて自分の血肉となります。もし学習の中でつまづきがあっても、それは新しいステップに進もうとしている証拠です。一人で抱え込まず、仲間との学び合いや先生への質問を通じて、一歩ずつ着実に進んでいきましょう。皆さんが英語を通じて新しい世界を広げていくことを、全力で応援しています。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
外国語	英会話	SG	3	Mr. Croft

#### 到達目標

The students in this course will be taught to use English to communicate in the modern world. The goal is for them to speak English in a natural, confident way to express their ideas and exchange opinions and information. They will also be able to start to use English to study academic subjects. Focus in the third year will be on proactive learning; being able to apply the skills they already have for finding answers to more challenging English problems independently. This is a four skills course, but with the primary goal of improving students' speaking skills. In this third year, we will also start to build upon previous learning to begin to write a variety of multi-paragraph responses.

#### 授業の進め方・学習方法

Whilst students will be using Solutions Intermediate (3rd Edition) as the core text for this course, they will be also be using a variety of supplementary materials. To improve listening, students will be using a variety of independently developed material. Students will also be encouraged to complete self-study materials which include grammar, vocabulary building and writing exercises. Students will be encouraged to read as many English books as possible.

#### 授業スケジュール

1学期	Academic Writing: analysing, understanding and writing effective paragraphs Unit IA: Holidays Unit IB: Present tense contrast Unit IC: Adjectives Unit ID: Articles, <i>will</i> and <i>going to</i> Unit 1A: Ages and stages - talking about the different stages of peoples' lives. Unit 1B: Past tense contrast
1学期中間試験	
1学期	Unit 1C: Family tensions Unit 1D: <i>used to</i> Unit 1E: Phrasal verbs Unit 1F: Reading: Adolescence Unit 1G: Exchange programmes Unit 1H: Writing a response to a message
1学期期末試験	
2学期	Unit 2A: Talking about leisure activities Unit 2B: Present perfect / past simple contrast Unit 2C: Deciphering context Unit 2D: Present perfect simple and continuous Unit 2E: Compound Nouns and Adjectives Unit 2F: Reading: outdoor games Unit 2G: Stimulus-based discussion Unit 2H: Writing a blog post
2学期中間試験	
2学期	Unit 3A: Parts of the body Unit 3B: Speculating and predicting Unit 3C: The body's limits Unit 3D: Future continuous and future perfect Unit 3E: Word families Unit 3F: Reading: human body clock Unit 3G: Photo description Unit 3H: Writing an opinion essay
2学期期末試験	
3学期	Unit 4A: Describing house and homes Unit 4B: Comparisons Unit 4C: Paraphrasing simple verbs Unit 4D: Imaginary situations Unit 4E: Using do/make/take correctly Unit 4F: Reading: alternative living Unit 4G: Photo comparison and discussion Unit 4H: Writing an email
学年末試験	

#### 成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	60%	Two main kinds of test will be given: speaking and writing. The writing tests will be held during the regular test periods. The speaking tests are not summative, but formative in nature, so will be held throughout the term. There will also be some in-class tests such as listening tests. The regular timely submission of homework also forms part of the students assessment. The students will also submit their notebook for assessment at the end of each term.
レポート		
小テストなど	20%	
授業での取り組み	20%	

#### 教科書・教材

書名	出版社	備考
Solutions: Intermediate - Student's Book	OUP	978-0-19-450449-2 Third Edition
Solutions: Intermediate - Workbook	OUP	978-0-19-450452-2 Third Edition

#### 担当者からのアドバイス

1. Try to use English at all times in this class, both with the teacher and your classmates.
2. Aim to improve, not to be perfect. Do not worry about making mistakes!
3. Collaborate with your classmates to create a positive and supportive learning environment.
4. Take neat, detailed notes in class and review all your lessons.
5. Don't give up and if you forget something: learn it again.
6. Do all your homework and submit it before the deadline!
7. Ask if you don't understand anything.
8. Read as much as you can.
9. Go online and access English.
10. Watch movies, listen to songs and learn to enjoy English.